

巻頭言

理事・副学長（評価・情報担当） 滝和郎

このたび情報・評価担当理事兼図書館長を拝任いたしました滝和郎です。新たに、センター長に就任された松岡守先生と御一緒に業務をはたしてゆくつもりですのでよろしくお願いたします。私は脳神経外科の医師でもあります。論文の作成、学会発表の資料作成、などを媒体にタイプライター、ワードプロセッサから、コンピューターに入ってきました。小生が大学を卒業（1974年）したころは電動タイプライター全盛時で、先輩の医師から IBM の電動タイプライターの購入を勧められ、大枚をはたいて購入したことを思い出します。電動タイプライターからワードプロセッサへの移行も革命的な変化と感じていましたが、いまや万能のコンピューターにいたっては、大革命であります。若い方々にはこの変化はよくわからないかもしれませんが隔絶の感があります。といっても小生には、あくまで仕事の範囲内での利用とちょっとした DVD 鑑賞程度ですので、仕事として情報処理に携わっておられた方々には、これらの変化については言葉では表現できないような深い印象をお持ちであろうと推測します。1980 年台、コンピューターはでかくて、mobile にはほど遠かったのですが、今では高性能・小型の lap top が多数販売され、メモリーも増加しましたので、増設のハードディスクを持ち歩く必要もなくなりました。この原稿も休日に大阪の淀屋橋の coffee shop で作成しています。私にとって、いまやコンピューターは創造のツールで、ほとんどの創造的活動はコンピューターなくしてはできなくなっています。仕事の友というか、片時も離せなくなりました。ちょっと、横道にそれすぎてしまいましたが、総合情報処理センターではコンピューターを利用した皆様の活動を支援すべく、学内の多くの場所でコンピューターが利用できるように台数を増加しまた更新しています。また皆さんの持ち込みの mobile パソコンで学内、ほぼどこでも接続できるようにサービス拡大を行っています。総合情報処理センターではさらに、各種情報サービス、各施設の利用、講義、学習、レポート提出、メール、セキュリティー管理など、情報関連についての最新情報を、隈なく網羅するように努力しております。三重大学関連のネット上で総合情報処理センターと図書館は学生・教・職員にとって最も利用するサイトであると思います。総合情報処理センターには優秀な情報処理の教・職員がそろっており、ますますその活動を拡大し、より良いものにしてゆきたいと考えております。今後はスカイプなどの双方向システムを使用する教育・会議などについての学内支援や、サーバー管理にクラウドシステムなどの利用などを視野に入れ、ますます大学の情報に関連した機能を上昇させてゆくつもりですのでご支援賜りますようお願い申し上げます。